

## 図書館員が選んだこの4冊



## 内定者50人が教える「就活」を成功させる本 —先輩たちのリアル就活体験に学べ!

森 吉弘 著

[大和書房・1,260円] (2011年3月25日 出版)

ISBN: 9784479793120

内定者たちも、みんな悩み、心が折れそうになりながら、「就活」していた。いつ、どんなことから始めたのか? エントリー企業はどうやって絞り込んだのか? どんな人と会い、どんなアドバイスを受け、どう活かしたのか? エントリーシートや自己PRや面接に、それをどう取り入れたのか? 「納得内定」を獲得した先輩たちが語る、OB訪問でもなかなか聞けない「ホントの話」。

## 渋沢栄一〈1〉算盤篇

鹿島 茂 著

[文藝春秋・2,100円] (2011年1月30日 出版)

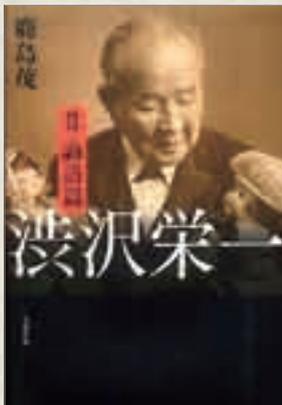
ISBN: 9784163735801

豪農の家に生まれた渋沢栄一は、一橋(徳川)慶喜に仕え武士となり、慶喜の弟・徳川昭武とパリ万博への参加を命じられる。

そしてパリの地で「資本主義のシステム」の本質を見抜く。

幕府が崩壊したためやむなく帰国、不本意ながら仕えることになった新政府で、「円」の導入など金融政策に次々関与する。

明治6年、本当の国力をつけるためには民間の力が必要だと考えた渋沢は、大蔵省を辞め、「民」を育成するための生涯を送ることになる。 ※現在品切れのため入荷日未定。



## 渋沢栄一〈2〉論語篇

鹿島 茂 著

[文藝春秋・2,100円] (2011年1月30日 出版)

ISBN: 9784163735900

大蔵省を退官後、次々と事業を拡大していった渋沢は500を超える企業の設立にかかわり、近代日本の礎を築く。

しかし、発展の一方で、さまざまな社会問題が持ち上がってきていた。

その実情にいち早く注目していた渋沢は、77歳を迎えた大正5年、ほとんどの事業から引退し、以降の人生を社会貢献に捧げる。

格差社会、福祉問題、諸外国との軋轢など現代にも通じる多くの問題に「論語と算盤」の精神で渋沢は正面から立ち向かう。

## 空白の五マイル—チベット、 世界最大のツアンポー峡谷に挑む

角幡 唯介 著

[集英社・1,680円] (2010年11月22日 出版)

ISBN: 9784087814705

チベットのツアンポー峡谷に挑んだ探険家たちの旅を追い、筆者も谷を踏破。

もう一度訪れたいと再び挑むが、想定外の出来事の連続に旅は脱出行と化す。

第8回開高健ノンフィクション賞受賞作。



引用: 紀伊國屋書店BookWeb

## 平成23年度 就職活動支援行事

これから始まる就職活動は、厳しく、辛いことが待ち受けているかもしれません。でも負けないで、粘り強く取り組んでください。さまざまな試練を乗り越えて、志望企業から内定が取れたとき、ひと回り大きくなった自分に気づくでしょう。目標を掲げ、これまでの大学生活で得たことを最大限に企業にぶつけられるよう就職活動の準備を進めましょう。

春学期の支援行事は、これまでの自分を振り返り、表現してみることの重きを置いています。また、支援行事の中には、働くこととは何かを考えるきっかけもつかめると思います。

そのほか、資格取得講座、公務員試験対策講座も開講しています。

実施日程			行 事	1・2年生 参加可能	ポイント
5/10	火	10:40～12:10	インターンシップ説明会 ※希望者のみ	2年生のみ可	仕事理解を深める
5/17	火	10:40～12:10	適職診断テスト (Web受験18～23日) ※希望者のみ (有料)	★	自己分析から適職を考える
6/7	火	10:40～12:10	留学生ガイダンス ※留学生のみ		就活の留意点を知る
6/13	月	11:00～16:00	春の進路相談会 ～24日		進路についての面談
6/14	火	10:40～12:10	適職診断結果分析講座	★	結果の活かし方
6/28	火	10:40～12:10	自己分析・自己PR講座		自分の強みを探る
6/29	水	10:40～14:30	自己分析・自己PR講座 (実践編)～7/4 (月)		自分の強みを表現
7/5	火	10:40～12:10	エントリーシート・履歴書講座		ポイントを押さえる
7/6	水	10:40～14:30	エントリーシート・履歴書講座 (実践編)～11日 (月)		理解をより深める
9/27	火	10:40～12:10	就活ガイダンス		就活の流れを再確認
10/4	火	10:40～12:10	一般常識テスト		筆記試験の実力確認
10/11	火	10:40～12:10	中小企業研究講座	★	職業選択肢を広げる
10/18	火	10:40～12:10	OBOG 講座	★	社会人の心構えを学ぶ
10/25	火	10:40～12:10	グループ体験講座	★	体験学習
11/1	火	10:40～12:10	企業分析対策講座		企業の調べ方を学ぶ
11/14	月	11:00～16:00	秋の進路相談会 ～18日 (金)		進路相談とアドバイス
11/15	火	10:40～12:10	就職活動体験報告会	★	就活の実情を知る
11/22	火	10:40～12:10	採用試験面接対策講座		選考ポイントの確認
11/22	火	16:30～18:30	採用試験面接対策講座 (実践編) ～25日		体験学習
11/29	火	10:40～12:10	インターンシップ報告会	★	実習報告
12/6	火	10:40～12:10	就活マナー対策講座		面接ポイント再確認
12/6	火	13:00～15:00	Uターン就職相談会	★	各県就職支援担当者との相談会
12/13	火	13:00～16:10	学内合同企業研究セミナー		業界研究と企業との出会い
2/10	金	13:00～16:10	第1回学内合同企業説明会		企業との出会い

## 就職活動中の皆さんへの支援行事

まだまだ企業採用試験が続いています。活動中のあなた、またこれから活動をはじめようとしているあなた、是非下記の行事に参加してください。これまでの就職活動の方法を振り返ってみることから、新たなきっかけを掴んでください。

就職活動での悩みは、一人で抱えてはいけません。就職支援課等を大いに活用しましょう。

就職委員会・就職支援課は、皆さんを応援しています。

実施日程			行 事	ポイント
5/24	火	13:00～16:10	第3回学内合同企業説明会	企業との出会い
6/28	火	13:00～16:10	第4回学内合同企業説明会	企業との出会い
7/19	火	13:00～15:00	4年生就職未内定者ガイダンス	就活の振り返り
7/20	水	未定	4年生就職未内定者相談会 ～22日	個別相談と求人情報

平成23年度

入試

結果報告



「入学試験」といえば2月に行われる学科試験が本番と思われる方が多いかもしれませんが、最近の傾向は一般的に学科試験を課さない「AO入試」や「推薦入試」と呼ばれる試験が増えています。入試の時期も夏休み以後毎月のように行われ、早い時期から入学者の確保を図る大学が増えています。本学では12月までに募集定員の約6割が確定します。平成23年度入試に関する12月までの日程は以下のとおりです。

- ・オープンキャンパス：6/19、7/11、8/8、8/22、9/11、10/17、12/4
- ・AO入試：第1回（8月）～第5回（12月）まで毎月
- ・公募制推薦入試：第1回（11月）、第2回（12月）
- ・指定校制推薦入試：11月

オープンキャンパスについては、高校生が夏休みとなる8月の参加者が最も多く、学部別模擬授業で学びの内容や高校とは異なる大学の授業を経験し、学部の詳細や入試制度に関して個別相談を受けながら出願の準備をします。参加者数は前年とほぼ同数でした。また、AO入試や推薦入試の選考方法にある面接試験に関するコンテンツを実施したところ、熱心にメモをとるなど関心の高さを伺うことができました。

総志願者数は、昨年度増加したことの反動もあり、本年度は前年比約20%減となりました。

志願者数が減少した要因の一つには近年の受験生の動向が反映していると考えられます。まず、受験生はできるだけ受験回数を少なくし進路を決定しようとしていることです。こうした傾向は、経済活動が低迷し不況の時代に見られる傾向で、より合格の確実な大学を限定し受験するというものです。今後もしばらくは続くことが予想されます。

次に、高等学校の進路指導の変化というものを挙げることができます。具体的には、高校訪問等により得られた情報として、AO・推薦入試よりも一般入試やセンター試験による進学を目標として指導をしている傾向がより強まったということです。理由は、AO入試や、推薦入試により早い時期に進路が決定した生徒の学習に対する意欲の低下や、大学入学後のモチベーションの在り方について問題とされてきたからです。

このような状況を反映して、多くの大学の募集活動が以前より厳しいものとなってきています。しかしながら、本学の場合も単に「数」を確保すればいいということではなく、本学の教育方針に共鳴し、目的意識を持った学生をひとりでも多く受け入れるために学生募集の在り方を考えていきたいと思っています。

## 平成23年度入試結果

入試形態	商学部		経営学部		人間科学専攻		児童教育専攻		合計	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
AO入試	109	84	115	65	31	26	5	5	260	180
推薦入試	99	94	57	56	9	9	8	8	173	167
留学生入試	11	6	11	8	3	3	—	—	25	17
一般入試	313	34	363	82	104	29	72	8	852	153
センター方式	259	20	352	38	77	14	48	6	736	78
合計	791	238	898	249	224	81	133	27	2,046	595

平成23年度

# 課外講座 について



本学では、皆さんのキャリア形成やスキルアップのために多数の課外講座「会計・ビジネス・情報・語学」の分野を開講しています。

課外講座は、専門学校の講師や各界の第一線で活躍している専門家が担当しています。学内で開講しているため通学による時間のロスや交通費の負担はありません。また、大学が受講料を補助しているため、受講者の費用負担は一般の専門学校の講座と比較すると3分の1から2分の1程度です。

なお、平成23年度、日商簿記3級の受講料は、初受講者が無料、再受講者は10,000円となりました（教材費除く）。

また、課外講座の提供だけではなく各種資格試験の団体申し込み、本学での団体受験も行っています。学習の補完はもちろんの事、キャリアアップにいかがでしょうか。

まだ申し込みを受け付けている講座もありますので、ぜひ活用してください。

## 平成23年度 課外講座一覧

分野	講座名	担当	受講料	教室	定員	申込期間
会計	日商簿記3級(11月受験)	資格の大原	学年問わず 初受講者:無料 再受講者 10,000円 教材費:4,000円	1206	無	4/1(金)~ 9/8(木)
	日商簿記2級(11月受験)	資格の大原 (工簿)松浦茂樹 (商簿)小川泰幸	40,000円 (教材費8,000円込)	1206	無	4/1(金)~ 6/7(火)
ビジネス	社会保険労務士入門講座	百瀬優 本学助教 角田大祐 特定社会保険労務士	受講料:3,000円 教材費:約2,000円	5102	無	4/1(金)~ 8/6(土)
	ビジネス実務法務3級	資格の大原 大森太一	受講料:28,000円 (教材費:5,000円込)	1203	無	4/1(金)~ 4/6(金)
	販売士2級	販売士TORERUアカデミー 濱崎亮子 本学教員	20,000円 (教材費8,000円込)	1101	無	4/1(金)~ 5/13(金)
教育	保育士	ヒューマン・アカデミー 大山美苑 尾関夢子 本学教授 長谷川万希子 本学教授 徳田治子 本学准教授 百瀬優 本学助教	25,660円 (教材費5,660円込)	1204	無	4/1(金)~ 4/30(土)
情報	マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)	資格の学校TAC 関美雪	27,350円 (教材費7,350円込)	5101	40	4/1(金)~ 5/11(水)

(注意事項) 各講座とも申込者が5名未満の場合(ビジネス実務法務3級のみ10名未満)は閉講となります。その場合は受講料の返金を行います。

## 公的資格取得支援奨学金制度について

一定の資格を持つ学生が、上位の資格を取得するために専門学校の講座を受講する場合、大学が10万円を限度として受講料の半額を補助する制度です。詳しくは、「2011年度版課外講座ガイドブック」をご覧ください。

### 対象講座

公認会計士、税理士、日商簿記1級、英検準1級相当以上、ITストラテジスト、社会保険労務士、中小企業診断士、販売士1級など

# 平成23年度 予算編成の概要

平成23年度予算は、高千穂学園第6期中期経営計画（平成22年度から平成26年度）に基づく各種計画内容の実現に向けて策定いたしました。

教育面では、本学の建学の理念および教育理念・教育目標のもと、社会の要請に応えられる学生質保証を中心とする学生育成を実現するための一層の教育改革に取り組む予算と致しました。

財政面では、帰属収入（学校法人の負債としない収入）に対する人件費の割合を50%未満に抑えることと、帰属収入から消費支出（学校の財産を減少させる支出）を差し引いた帰属収支差額の帰属収入に対する割合である帰属収支差額比率を一般的に経営に余裕があるとされる10%を超えることを目標に編成しました。

## 平成23年度予算の概要

まず、学校法人の経営状態を把握するために、企業会計での損益計算書にほぼ相当する消費収支予算書を中心に22年度予算と比較しながら解説します。

23年度の帰属収入は、入学学生数を厳しめに見積もったことにより納付金収入が減少し、また、安全確実な資金運用をするため有価証券の運用収入が低くなる見通しである等により、22年度より78百万円程度減少する予算となっています。一方、消費支出は、人件費が教職員数の減による減少を見込み、経費は、業務の見直しによる経費節減や減価償却費の減少により、結果的に71百万円の減となる見込みです。基本金組入額は、2号館の空調設備の更新や各教室の視聴覚機器の改修等の老朽化した施設設備の改修、登戸グラウンドや幼稚園舎の取得のための借入金の返済、将来の土地・建物の取得に備えた積立金等を組み入れ、昨年より56百万円の増加となります。また、東関東大震災にともなう諸経費に備え、予備費を2千万円増加させました。この結果、88百万円の支出超過予算となります。

### (1)収入の部

- ①帰属収入は29億4百万円と、22年度予算より78百万円減少しました。
- ②学生生徒等納付金は、学部新入生数を厳しめに見積もったことにより22年度予算に対して40百万円減の24億2百万円の予算となりました。
- ③補助金・寄付金は前年度並みを見込みましたが、志願者数の減少を見込み、手数料収入が5百万円減少しています。また、資産運用収入は21百万円の減少を見込んでいます。

### (2)支出の部

- ①人件費は、教職員数が減少するのに伴い、22年度より42百万円の減を見込んでいます。
- ②教育研究経費は、8億1百万円と、22年度より59百万円の減少となりました。情報機器のリース期間終了後再リースとしたことによる賃借料の減少や、償却期間経過による減価償却額の減少、業務の積極的見直しによる経費節減に努めたこと等によります。管理経費は、1億87百万円と、入試関係各種印刷物の費用対効果の観点からの絞り込みや減価償却費の減少等により11百万円の減少となりました。
- ③学園の教育・研究水準の維持・向上のために組み入れる基本金組入額は、5億5百万円と、56百万円の増加となりました。固定資産の取得額である第1号基本金組入額は、2号館図書館の空調機更新に63百万円、各教室の視聴覚機器の更新に43百万円、情報メディアセンターのサーバの更新に34百万円、教育用・事務用パソコンの取得に36百万円、図書取得に30百万円、登戸総合グラウンドや幼稚園舎取得のための借入金の返済分64百万円等で3億35百万

円です。将来の固定資産の取得に備えた第2号基本金は、大学の土地取得や校舎改築に備えて計画通り1億50百万円を組入れます。奨学金の原資となる高千穂育英基金にあてる第3号基本金には、計画通り20百万円を組入れます。

1ヶ月分の支払い資金に相当する第4号基本金は、消費支出の増加が無いため組入はありません。

次に、その年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払資金の収入および支出のてん末を明らかにするという点で、企業会計のキャッシュフロー計算書と同じ目的をもった資金収支予算書について見てみます。

資金収入は24年度分の納付金の23年度中受入額である前受金収入11億54百万円および22年度予算上の23年度への繰越支払資金44億28百万円を含んで74億25百万円となります。23年度の諸活動に対応する収入と支出が生じた結果、23年度末の24年度への繰越支払資金は3億17百万円減の41億11百万円となる見込みです。

## 平成23年度事業計画

### 大学関係

#### 1. 学部教育の充実

##### (1)コースの新設

平成23年度、経営学部「経営法務コース」を開設します。法令遵守・倫理観・社会的組織的秩序の重要性を理解する学生の育成を目指します。

##### (2)履修・成績管理システムの運用

履修・成績管理システムの再構築に伴い、WEB履修の導入等の履修・成績管理の利便性・確実性を高めます。

##### (3)「学士力」の養成

大学生が卒業までに身につけるべき能力を指す「学士力」育成のために、簿記・販売士・小学校教員養成の特別プログラムや税理士養成プログラムを実施していきます。専任教員によるアドバイザー制度、オフィスアワー、学生生活目標管理シートによる学習目標・計画作成を継続して運用していくとともに、1年生から4年生までの履修パターン・キャリア教育等の計画作りをする高千穂マスタープランの推進をしていきます。

##### (4)学生海外留学・研修関係

米国オレゴン大学における3月間の研修を含む1年間のプログラムで、学部の正式なカリキュラムであるIBCS（国際ビジネスコミュニケーション・セミナー）に研修生を派遣します。これは、語学力だけでなくビジネス専門知識に関する科目も開講され、コミュニケーション能力を含め総合的な学習ができるプログラムです。また、短期の研修生として、台湾・東呉大学へ学生を派遣する予定です。

##### (5)起業・事業経営(承継)コース

経営学部の起業・事業経営(承継)コースは、経営特別講座、会計特別講座、ビジネスゲーム、企業実地研修、起業家体験実習等を充実させていきます。

##### (6)教職課程

実践問題演習中心の「教員採用試験対策セミナー」を実施します。

##### (7)情報教育の充実

利用の多い貸出用のノートパソコンをさらに15台増やします。

また、教員が授業に使えるパソコンを整備します。

##### (8)図書館

図書館では、22年度に、グループ学習室の改修を行いました。利便性を高めるための追加工事を行います。また、マイクロフィルムリーダーを更新します。

## 2. 大学院教育の充実

大学院教育の質の向上のため、授業評価アンケートを各セメスターに実施します。また、パソコンを利用した授業に対応するために、22年度に引き続きプロジェクター・大型液晶モニター・スクリーン等の視聴覚機器を導入します。

## 3. 研究活動

総合研究所では、「新しい大学像を求めて」をテーマにシンポジウムを実施します。アジア研究交流センターでは、従来からの中国人事科学研究院・中央財経大学との共同研究を継続して研究を進めていきます。

## 4. 学生生活支援に関する計画

### (1) 課外講座に関する計画

資格取得によるキャリア形成支援とスキルアップを目的として「会計」「ビジネス」「情報」「語学」「教職」「公務員」「社会・労働保健」の7分野の講座を開設します。新たに「保育士資格取得講座」を開設します。

### (2) 留籍制度

就職活動を主たる理由として卒業決定後に在籍延長を希望する学生に対し、1年間の留籍を認める制度を設けました。

### (3) 就職活動支援

就職支援システム「求人Navi」を本格導入し、求人情報の検索・就職行事の確認・就活状況の把握等に活用します。

インターネットによる就職模擬試験「E-Testing」、公務員試験対策講座、秘書検定講座、ビジネス系検定講座についても充実・継続していきます。また、就職適性検査の検査料補助を行うとともに、進路相談・学内合同企業説明会その他ガイダンスを行い、就職活動支援用の冊子を作成します。

## (4) 奨学制度

成績優秀者や経済的困窮者を支援する奨学金制度を運用していきます。

## 5. 施設設備の整備に関する事業

2号館空調機の改修を行い、快適に図書館の利用ができるようにします。

各教室の視聴覚機器の更新をして、授業の環境を整えます。証明書自動発行機・図書館のマイクロフィルムリーダー等の更新等の整備を行っていきます。

温水洗浄便座・エアタオルの設置により、衛生環境を整備します。また、新たな土地の取得および老朽化した大学校舎の計画的な建て替えのための資金的手当を行っていきます。

## 6. 入学志願者の確保

大学全入時代を迎えたとされる中で、志願者と入学者の確保は、財政の健全化や大学の活性化にとって最重要課題です。

各入試制度を見直し、新制度の設置等を行います。オープン・キャンパスの内容の見直しをします。高校訪問や高校での出張授業を充実させていきます。

## 7. 認証評価適合認定後の対応

平成22年度に財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているとの認定を受けました。その際の助言事項に対する真摯な改善を計ります。

## ■平成23年度 資金収支予算書（要約）

（単位：千円）

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成23年度	平成22年度	増 減		平成23年度	平成22年度	増 減
人件費支出	1,440,521	1,495,382	△ 54,861	学生生徒等納付金収入	2,402,297	2,442,512	△ 40,215
教育研究経費支出	559,570	593,926	△ 34,356	手数料収入	36,771	41,517	△ 4,746
管理経費支出	168,804	172,808	△ 4,004	寄付金収入	4,576	4,560	16
借入金等利息支出	3,633	4,446	△ 813	補助金収入	262,587	261,024	1,563
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	100,656	121,171	△ 20,515
施設関係支出	119,743	71,407	48,336	雑収入	97,300	111,889	△ 14,589
設備関係支出	190,137	183,925	6,212	前受金収入	1,154,325	1,176,225	△ 21,900
資産運用支出	720,000	920,000	△ 200,000	その他の収入	188,919	391,208	△ 202,289
その他の支出	80,536	83,005	△ 2,469	資金収入調整勘定	△ 1,250,152	△ 1,286,838	36,686
[予備費]	70,000	50,000	20,000	前年度繰越支払資金	4,428,112	4,709,155	△ 281,043
資金支出調整勘定	△ 103,314	△ 95,028	△ 8,286				
次年度繰越支払資金	4,111,321	4,428,112	△ 316,791				
支出の部合計	7,425,391	7,972,423	△ 547,032	収入の部合計	7,425,391	7,972,423	△ 547,032

## ■平成23年度 消費収支予算書（要約）

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成23年度	平成22年度	増 減		平成23年度	平成22年度	増 減
人件費	1,444,799	1,486,722	△ 41,923	学生生徒等納付金	2,402,297	2,442,512	△ 40,215
教育研究経費	800,530	859,726	△ 59,196	手数料	36,771	41,517	△ 4,746
管理経費	186,644	198,008	△ 11,364	寄付金	5,076	5,060	16
借入金等利息	3,633	4,446	△ 813	補助金	262,587	261,024	1,563
資産処分差額	2,000	3,000	△ 1,000	資産運用収入	100,656	121,171	△ 20,515
[予備費]	50,000	30,000	20,000	雑収入	97,300	111,889	△ 14,589
消費支出の部合計	2,487,606	2,581,902	△ 94,296	帰属収入合計	2,904,687	2,983,173	△ 78,486
当年度消費収支差額	△ 88,061	△ 48,323		基本金組入額	△ 505,142	△ 449,594	△ 55,548
翌年度繰越消費収支差額	1,269,545	1,357,606		消費収入の部合計	2,399,545	2,533,579	△ 134,034